学校番号	1006

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	ことばと人間生活	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書							
副教材等	国語必携ライトパーフェクト演習(尚文出版)						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・漢字や慣用表現を学び、生きる上で必要な知識を身につけましょう。
・文章読解の基礎から総合的に学習し、実践力を身につけましょう。
・定期考査は学習計画を立てて臨んでください。

2　学習の到達目標

・実社会に必要な国語の知識や技能を身につける。
・論理的に読む力、豊かに想像する力を身につける。
・自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。
・言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に扱っている。	「書くこと」の領域において、効果的に伝わるよう工夫するとともに、「読むこと」の領域において、文章の論理を評価し、自分の考えを深め、発展させている。	言葉を通じ積極的に他者と関わったり、思いや考えを深めたりしながら、言葉の持つ価値への認識を深めようとしているとともに、言語感覚を磨き、言葉を効果的に使おうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
1学期	言葉を知る ［教材］ ライトパーフェクト演習 「基礎編①」 漢字・慣用表現・現代用語・国語常識・表現・カタカナ語・日本文学史	a：国語における言葉の成り立ちや表現の特色を理解する。 b[書]：表記に注意して書くことができる。 c：言葉に興味を持ち、適切な表現の仕方で書こうとしている。	定期考査 ライトパーフェクト演習	定期考査 ライトパーフェクト演習	取組みの様子 ライトパーフェクト演習
	表現を楽しむ ［教材］ 自主教材 「企画書をつくる」	a：説明の順序など、基本的な説明の技術を身につけようとしている。 b[書]：構成を考え、限られたスペースで相手に伝えるための文章を書くことができる。 c：文や文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解を深めようとしている。	ワークシート	作品	ワークシート 相互評価シート 振り返りシート
2学期	言葉を知る ［教材］ ライトパーフェクト演習 「基礎編②」 漢字・慣用表現・現代用語・国語常識・表現・カタカナ語 「基礎編③」 漢字・慣用表現・現代用語・国語常識・表現・カタカナ語	a：国語における言葉の成り立ちや表現の特色を理解する。 b[書]：表記に注意して書くことができる。 c：言葉に興味を持ち、適切な表現の仕方で書こうとしている。	ワークシート 定期考査 ライトパーフェクト演習	作品 定期考査 ライトパーフェクト演習	ワークシート 相互評価シート 振り返りシート 取組みの様子 ライトパーフェクト演習
	表現を楽しむ ［教材］ 自主教材 「自分トリセツ」をつくろう	a：説明の順序など、基本的な説明の技術を身につけようとしている。 b[書]：構成を考え、限られたスペースで自分のことを端的に書くことができる。 c：文や文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解を深めようとしている。	定期考査 ワークシート	定期考査 作品	取組みの様子 ワークシート 相互評価シート 振り返りシート
3学期	言葉を知る ［教材］ ライトパーフェクト演習 「基礎編③」 漢字・慣用表現・現代用語・国語常識・表現・カタカナ語・敬語 「対策編」 二語の関係・漢字・四字熟語・類義語・反対語・ことわざ・文法・漢字・文学史	a：国語における言葉の成り立ちや表現の特色を理解する。 b[書]：表記に注意して書くことができる。 c：言葉に興味を持ち、適切な表現の仕方で書こうとしている。	定期考査 ワークシート 定期考査 ライトパーフェクト演習	定期考査 作品 定期考査 ライトパーフェクト演習	取組みの様子 ワークシート 相互評価シート 振り返りシート ワークシート 相互評価シート 振り返りシート 取組みの様子 ライトパーフェクト演習

	表現を楽しむ		定期考査 ライトパーフェクト演習 定期考査	定期考査 ライトパーフェクト演習 定期考査 作品	取組みの様子 ライトパーフェクト演習 取組みの様子 ワークシート 相互評価シート 振り返りシート
	［教材］ 自主教材 「思い出新聞づくり」	a:新聞に関する構成や約束事を意欲的に吸収している。 b[書]:見出しやレイアウトなど、実際の新聞を参考にして、工夫している。 c:高校生活を振り返るとともに、限られたスペースで端的にわかりやすく書こうとしている。			

４　学習の活動

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　　）時間

・書くこと　…　（　４５　）時間

・読むこと　…　（　２５　）時間